

# 令和4年度 第1回 三田市地域公共交通活性化協議会 議事録

【日 時】 令和4年6月16日（木）10:00～11:30

【場 所】 三田市役所2号庁舎3階2301会議室

【出席者】 委員：16名（3名欠席）

土井 勉、北川 博巳、谷舗 尚彦、木村 隆人、阿部 保博、佐々井 孝一、水田 節男

田中 康嗣（代理：田橋 一）、雨森 尚子、久高 輝之、若宮 詩織、金子 俊二、谷口 浩士、大村 和也

小畑 正則、中野 安裕

オブザーバー：3名

奥藤 秀樹（兵庫県交通政策課副課長）

竹内 宏（神姫バス株式会社計画課地域公共交通担当課長）

宇高 昌利（一般社団法人兵庫県タクシー協会地域交通委員長）

傍聴者：0名

事務局：5名

都市政策室長 作倉

交通まちづくり課：課長 高寺、交通調整係長 北村、交通企画係長 大脇

交通調整係 山内、交通企画係 梅村

## 【次 第】

- 1 はじめに
- 2 配布資料の確認
- 3 委嘱状交付・委員紹介
- 4 議事の進行（出席者委員数報告）
- 5 協議事項
  - (1) 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画）について
- 6 報告事項
  - (1) 三田市地域公共交通網形成計画中間評価について（三田市）
  - (2) 近畿運輸局地域公共交通優良団体表彰（近畿運輸局長表彰）の受賞について（三田市）
  - (3) スマートポール実証実験報告について（三田市）
  - (4) 電動キックボード実証実験報告について（三田市）
  - (5) 藍小学校線路線休止に伴う代替手段等進捗状況（三田市）
  - (6) バス利用促進及び人材確保について（兵庫県バス協会）
  - (7) 7月より早朝の時間指定の予約に予約料金の申請を検討（日本交通）
  - (8) 深夜における車両不足について（日本交通）
- 7 おわりに

## 【会議の概要】

(事務局)

今年度第1回目につき、各メンバーの紹介（詳細は別添委員名簿参照）

本日は、委員19名中3名欠席、オブザーバー3名、事務局6名出席。

昨年度まで委員の三田市PTA連合会は、PTA規約変更により今年度からは不参加。

(会長挨拶)

今回は久々の対面形式で議論の深まり方も変わってくると思われまふ。コロナで各交通事業者は大きな打撃を受けています。是非、皆様からの積極的な意見交換をお願いします。

(事務局)

本日は、委員19名中16名参加しております。委員1/2以上の参加であり、本協議会設置要綱に基づき協議会は成立。原則公開協議。なお、本日傍聴者はなし。

## 【協議事項】

(事務局)

「生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）」について

（詳細は別添協議資料）

説明した変更点について申請書を提出するが昨年度同様、軽微な変更については事務局に一任いただきたい。

(会長)

フィーダーは幹線交通の枝葉にあたり、しっかりと維持し幹線交通とセットで考えるという事になります。そのために国から補助を頂くために今回の申請計画となりました。

(A オブザーバー)

平均乗車密度について補足説明します。

ある系統の1便当たりの平均利用者数のことを言い、始点から終点まで1人が乗っていたら平均乗車密度は1となります。1人の方が中間地点で降りられたら、0.5となります。

(会長)

鉄道の平均輸送密度と間違わないようにしましょう。

(副会長)

生活交通確保維持改善計画の目標の設定は、よく取り入れられている方法ですか。

また、軽微な変更の具体例を示して下さい。

(事務局)

目標の設定方法としては、全国的には導入している自治体があります。

軽微な変更とは、例えば運行曜日カレンダーの修正。昨年度の例としては、計画の協議時点では決まっていなかったオリンピックの開催により、祝祭日の変更となり、運行便数等が変更になった場合は軽微な変更として取り扱います。また、申請書類の誤字誤植、表現の訂正も軽微な変更として取り扱います。

現時点で考えられる軽微な変更は、運行便数と日数の変更になります。

(会長)

補助の基準で言うと1便当たりの人数は反映されているのでしょうか。申請書類には1便当たり2人越えていることを書いておく方が良いでしょう。

事後評価の際に混乱しないようにしてください。

(A オブザーバー)

運行回数と運行日数の関係について補足説明します。

系統番号1について、市民病院を11時24分発、乙原バレイを12時7分に着く便があります。これは、市民病院からの帰路を想定しております。往路については、母子を7時14分発、市民病院に8時19分着の便があります。往路は対象となる便とはなりませんので、0.5便となります。このことから、日数に対して、運行回数が少ないという事象が発生します。市民の方へのサービスについては、1往復を確保しているということになります。

(B オブザーバー)

近年の輸送人数もしくは輸送密度の数値はありますか。

(事務局)

手元に資料はありません。

(A オブザーバー)

令和3年度の達成率は目標に対して70%です。

(会長)

具体的に5%上げるための方法を教えてください。

(事務局)

自家用有償旅客運送の利用者への周知に努めることにより、結果的にフィーダー系統の利用を増やします。その他「6ページの3目標を達成するために行う事業及びその実施主体」の内容に基づいて実施します。

(C オブザーバー)

自家用有償旅客運送で土日祝も運行可能になったが安全運行管理等は出来ているのですか。またドライバーの数は何名でしょうか。

(事務局)

運行管理、整備管理それぞれ担当を決めて業務を行い、連絡体制などを決めたマニュアルを作成しています。ドライバー数は小野地区 19 名、広野地区 7 名。

(D 代理)

オブザーバーは安全の事を最優先に考えての発言だと思われます。運輸局としても自家用有償旅客運送の申請書類の不備がなかったので許可しました。

(会長)

他にご意見ご質問ございませんでしょうか。

協議事項については協議が調いました。

#### 【報告事項】(詳細は別添報告資料参照)

(事務局)

- (1) 三田市地域公共交通網形成計画中間評価について (※詳細は別紙報告資料 1 参照)
- (2) 近畿運輸局地域公共交通優良団体表彰 (近畿運輸局長表彰) の受賞について (三田市)
- (3) スマートポール実証実験報告について (三田市)
- (4) 電動キックボード実証実験報告について (三田市)
- (5) 藍小学校線路線休止に伴う代替手段等進捗状況 (三田市)
- (6) バス利用促進及び人材確保について (兵庫県バス協会) (※詳細は別添チラシ「運転免許の返納を考えてみませんか?」、「運転手が不足しています」参照)

- (7) 7 月より早朝の時間指定の予約に予約料金の申請を検討 (日本交通)

未定事項ですが、早朝の時間指定の予約に予約料金の申請を検討。ドライバー不足が主な要因。具体的には 5 時台、6 時台で検討。時間指定について、400 円の予約料金を頂戴することを検討。

タクシーの運賃改定の話も出ています。陸運局の認可が必要であるため、簡単に改正されるものではないが、運賃改定の流れがあることを報告させていただきます。

- (8) 深夜における車両不足について (日本交通)

2009 年から 24 時間営業を実施してきました。三田のまちの賑わいを支えるとともに緊急時の移動を支えてきました。しかし、全社的にドライバーの高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、将来的には続けることができないかもしれないということを報告させていただきました。

(会長)

報告事項 2 つ目の貨客混載について、これからバスは人だけでなく物も運ぶことが重要な役割を担うことになると思います。その先駆けになると思います。

報告事項 1 つ目の中間評価について、よくわからないことがあります。わからない理由ですが、別紙報告資料 1 の黒矢印と赤矢印の意味がよく分かりません。赤色の実線が実施済みのことだと思います。

また、たくさん並んでいるとどれがどうだか分かりにくいです。重点事項に力を入れると、他の事項にも付随してくると思います。重点項目を強調すると、もう少し分かりやすくなると思います。

報告事項4つ目のキックボードについて、2～3日で何かわかるでしょうか。例えば天気は左右されることもあると思います。実験だとしたら、2～3日ではなく、せつかく準備して実施するのでしたら、せめて1か月程度の一定の期間で、人流や天候も変わっているところで実施し、その結果で評価をしないと、実験をするための実験のような気がします。

#### (副会長)

まず、中間評価のお話についてですが、一旦2019年から2021年のタームが終わりました。これから2022年から2025年の後期に入っていきますので、今年は大事な年だと思います。振り返りを実施し、できなかつたことは共有しないといけないです。次の会で、できなかつたことの総括、今後の戦略作りが必要だと思います。立てた目標については、近づいているということだと思いますが、なかなか達成できなかつたところも素直に受け止めることも非常に大事なことだと思います。

電動キックボードの実証実験について、幹線道路を走ることは正直怖いです。乗ろうと思っても、少し練習が必要なので、実証段階になっていくと、練習の方法やどの道路を通ってもらうか、安全に対する心構えなどを考えていかなければなりません。

タクシーの報告ですが、もう少し使いやすくなれないかと考えております。例えば、子育てはニーズが高いと思います。個人任せではなく、そこは行政が支援するといった形もあると思います。

#### (D代理)

先ほどの北川先生のお話の事例ですが、救急車でどうしても運べないときはタクシーで行っていただくことになると思いますので、そこに市が補助していくという事例もあります。

臨時交付金の関係で、令和4年度に繰り越しされまして、燃料高騰というところで、兵庫県に支援いただいておりますが、バス、タクシー、トラック、鉄道が対象となります。また、車内の乗車密度を上げないように配慮した運行に取り組む地域公共交通事業者に対する補助や、タクシー車内の感染防止対策への補助も実施されています。

#### (Bオブザーバー)

先週、県議会があり、補正予算が議決されました。詳細については、現在要綱を定めている最中なので、検討中となっておりますが、今日お集りの方で関係する部分で言いますと、まず1点目に、燃料代高騰への支援です。路線バス、タクシー、地域鉄道を対象として、車両数に応じて支援することを予定しております。路線バスの場合で1台7,000円、タクシーの場合で1台4,000円、地域鉄道は1両あたり24,000円という形で支援を一時金という形で実施。タクシー関係は、事業者様が多いので、タクシー協会にお手伝いいただいて執行することを考えています。

昨年度も実施しておりました、コロナで利用者が減る中、便数を維持して運行してもらうことに対しての支援について、今回1か月分を予算化。バス・鉄道関係について支援。

タクシーは一定閉ざされた空間となるため、乗務員の方と乗客間の感染不安ということもあるかと思う。高性能な空気清浄機を導入する際に、国の方で補助制度がありますが、さらに事業者負担を軽減するために、昨年度に続いて実施。ただし、上乗せ補助となりますので、国の補助を申請いただい

た方に限ります。

(C オブザーバー)

13年ぶりの運賃改定の準備が進んでいます。今からの手続きになりますので、早くとも年末くらいになるかと思えます。

また、深夜時間帯において、具合が悪くなり、救急車を利用したけれども、帰りは救急車を利用できないため、タクシーを利用していただけよう準備しておきたいと事業者として思うが、人手不足と費用の面からなかなか十分なことができない。最低賃金の方が変わり、最低限の乗務員を深夜に常駐させるためには、法律の制限があり、なかなか十分なことができません。

(E 委員)

電動キックボードについて、テクノパークは幹線道路が通っています。原付も通っていますが、事故も起きていると思います。このような状況の中、どのような制限をかけるべきなのかというところと、従業員が電動キックボードで通勤したいとなったときに、認めるべきなのか難しいです。

(会長)

ご自宅から通われるのであれば大変ですが、折りたたむと10kgくらいになりますので、電車に積んでということもなかなか現実的ではないと思います。車輪が小さいので、安全なルートを見つけて使用していただくということしかないのかなと思います。

事務局からお答えいただけることがあればお願いします。

(事務局)

まず、中間年評価につきまして、冒頭で表の見方について説明が不足しておりましたことお詫び申し上げます。ご覧いただいております資料は、地域公共交通網形成計画でお示しをさせていただきました施策体系の表になります。計画を実現していくためには、どのような施策が必要であるかということを示したものにします。今回はそれをベースに、上段が地域公共交通網形成計画に書かれている計画、下段が現時点の進捗状況を示したものにします。右端には、これまで行ってきた事業や状況について、関連事業または取組の状況を記載しています。

目標となる指標について、2019年、2020年がどうであったかということを示していきたいと思っています。今後、中間年としてこれまでの事業や今後について評価していくにあたっては、この資料をベースに皆さま方にご協力いただきながら、資料として使用していきたい。

また、施策数が多岐にわたりますので、何を重点的に行ってきたか、計画で重点事業としている箇所が分かりやすいように、資料作成時には工夫を行います。

近畿運輸局長表彰につきましては、神姫バス様、JA兵庫六甲の皆さま、地域の皆さまの功績が非常に大きいです。

スマートポールに関しては、今回、民間事業者様が三田をフィールドに実施したいということで、行われました。趣旨につきましては、技術検証であると認識しています。スマートポールは、電柱に設置されるセンサーやカメラ、無線機などサイズ感の大きなものになっています。LED標示板についても、仮設のボードという形で実証されておりました。今後、サイズのコンパクト化や省エネ、コス

トに関しても、検証されるだろうと思う。

また、実証実験の内容についても、一般車両を対象にしたものではなく、バスに対してどのような情報が通信できるかということで、神姫バスに既存の路線バスをご協力いただいていた行われました。

実証期間については、1～2日のデモで正常に無線が届くか、稼働するかという技術検証であったと認識しており、今後実装化に向けた検証が繰り返し実施されると思っています。

同時に行われた見守り支援については、福祉分野においても新しいシステムとして活用できる可能性が非常に高いのではないかと考えています。今回の見守り支援については、このようなデータが取れますというような紹介をされた実証になります。こちらの方も短くても1年、長くても3年くらいは、人々の行動がどのように変化したのか、運動量がどう推移していったのか見ていかないと結果は出ないと聞いています。

電動キックボードですが、法改正後は市民の方が自由に使うことができる新しいモビリティということになります。自然に利用者が増えていくことが予測されますが、私たちも新しいモビリティとして、果たして有効なのか、どのような課題があるのかということ把握するため、職員の協力も頂きながらアンケート調査も実施しました。期間は非常に短かったが、今後市民の皆さまにも試乗の機会を設けていくべきなのか、シェアリングのモビリティとして活用できるものなのか、インフラはどうなのかということの研究して参りたいと考えています。

また、藍小学校線ですが、こちらは逐次情報提供という形での報告ということになります。神姫バスと情報連携、協力をしながらスクールバスへのスムーズな転換というのを実施していきたいと考えています。休止については、本協議会でご協議いただく必要があるため、しかるべきタイミングで皆さまにはご協議願います。

最後、タクシー事業に関して、子育てや出産のような妊婦タクシーの利用について、三田市もコロナ禍で実施。福祉部局とも連携をしながら、今後行政サービスとしてどのようなことができるのかということについて、引き続き検討していきます。

兵庫県からも臨時交付金の活用について、昨年度も実施したコロナ運行支援感染防止対策への支援、今年度燃料高騰に対する支援について紹介がありましたが、市としても今後、兵庫県や他市の取り組みも参考にしながら、実施に向けて検討して参りたい。

(F 委員)

スマートポールの実証実験ですが、今後も三田で行われるということになっているのでしょうか。

(事務局)

今回、神姫バスも含め、民間事業者12社の民間主導で実施された実証実験になります。今年度含め以降、繰り返し技術検証また実装に向けた検証が行われるかと思いますが、今時点では、その意向は聞いていません。ただ、バスの安全運行、また自動運転を見据えた安全運行やインフラからの運転支援を考えると、継続してインフラ協調の検証を進めていただきたいと思います。

(会長)

電動キックボードは、何と競合するかというと自転車と競合したり、タクシーと競合したりするので、個人で導入することについては問題ありませんが、大阪ではシェアリングの仕組みが導入されて

いますが、三田市における社会的な導入の仕方ということを検討し、本協議会で検討した方が良いかもしれません。

用意された議題は以上になります。事務局から何かありましたらお願いします。

(事務局)

自家用有償旅客運送について報告します。広野地区について、来年の7月で1年が経とうとしています。これを機に、広野地区では1年の振り返りアンケートを実施予定。外出頻度の変化や満足度、改善点などについて伺っていきたい。

また、広野地区では新たなルート開拓についても検討を進められています。アンケートで意向調査も実施していくことを予定。現在、新しいルート候補と想定されているところは、広野地区にバス便がない土曜日について、新三田までの運行を検討されています。期間を設定し、実証実験をし、ニーズを把握して、本格化による利用促進を図っていききたいとの意向があります。この件については、地区と協議を重ねて、委員の皆さまには、今後の経過について報告させていただきます。

(会長)

新三田までの延長については、路線バスと競合しない土曜日ですね。

(事務局)

土曜日には上青野地区からのバス便がないため、そこで何かできないかと検討されています。

(会長)

地域のドライバーには負担になるかもしれません。

(A オブザーバー)

新三田となるとかなりの距離になります。最寄りの鉄道駅があるので、鉄道を含めての役割分担をする方向性で、運行していただければありがたいです。

(会長)

令和4年度第1回三田市地域公共交通活性化協議会を終了したいと思います。皆様、貴重なご意見を頂戴ありがとうございました。